

# XLRケーブルの作り方 (ITT CANNON編)

## 1. 準備物

- ケーブル, コネクタ
- はんだごて, ピンセット, カッター, ニッパ (またははさみ)

## 2. 製作手順

1. ケーブル先端の被膜を 2cm 程度取る.
  - シールドを傷めないように注意する. ケーブルを反らせてカッターで切れ目を入れていくと, すぐに切れる.
2. 端子以外の部品をケーブルに通す (忘れるとやり直し!).



図 1 ITT CANNON 端子 (上:メス, 下:オス)

3. 編みであるシールドをピンセットでほどく.
4. ケーブル保護用のヒモやカミを切り取る.
5. ほどいたシールド線を 2 つに分けて束ね, そのうち 1 つは切り取る.
  - 熱収縮チューブを付け, 先端以外は絶縁する.
6. 銅線を 6~7mm (端子部から銅線がはみ出ない程度に) 露出させる.
7. はんだ付けを行う.
  - 1 : シールド (網線)
  - 2 : ホット (暖色)
  - 3 : コールド (寒色)

同一色の銅線が2本ある場合（4芯タイプ）は、1つにまとめてはんだ付けする。はんだ付けの前に、銅線の先端に衣をつけると、銅線がまとまって作業しやすい。

銅線を露出しすぎると短絡の原因となる。はんだ付けが甘いとは接触不良や雑音の原因となるため、しっかり温めてはんだを流し込むこと。

ネジ止めを行って完成となる。

### 3. ケーブルのテスト

完成したケーブルは必ずテストを行う。端子がぐらついただけで短絡してしまう、あるいは切れてしまうのでは、製作をやり直す必要がある。

完成したケーブルは必ずテストを行う。端子がぐらついただけで短絡してしまう、あるいは切れてしまうのでは、製作をやり直す必要がある。



PIN 1	-	PIN 1
PIN 2	-	PIN 2
PIN 3	-	PIN 3

以上が正しく接続されていれば OK.

OUTPUT			PIN 1 / SLEEVE	PIN 2 / TIP	PIN 3 / RING
PIN 3 / RING	PIN 2 / TIP	PIN 1 / SLEEVE			
○	○	●	INPUT		
○	●	○			
●	○	○			

図 2 ケーブルのテスト

1. ケーブルテストにケーブルを挿しこむ。
2. スイッチを「CABLE TESTER」に合わせる。

図のように、PIN1-PIN1, PIN2-PIN2, PIN3-PIN3 が正しく点灯すれば、ひとまず接続は間違っていない。

3. 「RESET」ボタンを押し、「RESET」ボタン下のランプ 3 つが消灯することを確認する。
4. OUT 側および IN 側の端子や根元をぐらつかせる。

「RESET」ボタン下のランプが3つともつかなければ端子の短絡もなく、ケーブルは完成となる。